

## 保育現場に於ける保育者のリトミック指導力向上の必要性 II

平松 なをみ

こども健康学科

### Improving Eurhythmics-Based Leadership Skills of Nursery Teachers

Nawomi HIRAMATSU

#### 要 旨

前稿では、保育現場における保育者のリトミック指導力についての現状調査とアンケート調査を行い「保育者の音楽的センスと演奏技術の問題点」を明らかにした。本稿では、これらの問題点を検証し、解決させるため著書「第一巻『リトミック』基礎演習」を作成した。そして、本学1年生の前期授業「音楽基礎演習」にて使用し、その成果を検証した。その結果、リトミック音楽表現の実践を伴った授業展開を行うことにより、より音楽理論への理解、しいては目的としている音楽的センスと演奏技術の向上にもつながっていることが明らかになった。

キーワード：幼児音楽 表現 リトミック ダルクローズ

#### Abstract

- In our previous paper [1] we conducted an on-site investigation and questionnaire on the Eurhythmics education and leadership skill of nursery school teachers and identified problems with teachers' musical sense and performance technique. In order to address the abovementioned problems and verify the solution, the author has written a textbook [2] which was used in the first-semester Basic Music Exercise Course of the School. This paper elaborates on the proposed exercise and verifies the results. The results of this study indicate that Eurhythmic musical expression-based class courses would lead to a deeper understanding of the music theory which in turn facilitates improvement of teachers' musical sense and performance technique.

**Keywords** : Early Childhood Music, Expression, Eurhythmics, Dalcroze

[1] "Improving Eurhythmics-based Leadership Skills of Nursery Teachers"

[2] "The Eurhythmics: Basic Exercise", First Volume

## 1. はじめに

前稿の調査で明らかにされた保育者のリトミック指導力についての問題点を考察する時、「保育者の音楽的センスと演奏技術」の中で特に【即興演奏技術】のスキルアップが必要であることが明確になった。即興演奏のスキルアップには時間がかかるため、現場に立つ前の保育者養成校で学生を育成することを提案する。

リトミック音楽教育において即興演奏は欠かせないものである。子どもと向かい合い、子どもと共に活動するための即興演奏は、乳幼児の自発的な活動を引き出し、心身の調和のとれた発達の基礎を培うものである。五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の内容を踏まえた実践力が一層求められている現在、子どもの音楽表現に関わる保育を構想し実践するために必要な音楽能力、指導力の育成をすべきだと考える。

これらのことを踏まえて作成した教材：「第1巻『リトミック』基礎演習」を使い、本学こども健康学科の学生に実践された授業プログラムにどのような成果があったのかを検証する。

## 2. 方法

リトミック音楽表現の実践を伴った音楽理論授業を展開し、リトミック授業の前後に学生アンケートと感想。授業後、指導に関わった音楽講師へのアンケート調査結果より、学生の学習結果を検証する。

調査対象：本学健康プロデュース学部 こども健康学科1年生 30名（男子学生1名）  
：ピアノ指導講師（音楽表現基礎演習授業）4名  
：声楽指導講師（合唱授業）1名

調査期間：2018年前期授業 15回

### 2.1 学生の授業前アンケートより

#### ①ピアノが弾けるか。

[はい：22名 いいえ：7名]

いいえと答えた7名にアンケート

- ・幼児教育においてピアノ演奏は必要だと思うか。  
[はい：7名 いいえ：0名]
- ・入学前にピアノレッスンを受けようと思ったか。  
[はい：2名 いいえ：5名]

- ・入学後にピアノレッスンがあることを知っていたか。  
[はい：6名 いいえ：1名]

#### ②入学前にピアノレッスンを受けたことがあるか。

[はい：15名 いいえ：8名 未記入：7名]

はいと答えた15名にアンケート

- ・習っていた期間はどのくらいか。  
幼児～小学校：3名  
小学校～高校：3名  
小学校～中学校：1名  
幼児～中学校：3名  
小学校：2名  
高校：2名  
中学校：1名
- ・楽譜、音名、記号（例：f・p）を学んだか。  
[はい：12名 いいえ：2名 未回答：1名]
- ・音符が読めるか。  
[はい：14名 いいえ：0名 未回答：1名]
- ・両手で弾けるか。  
[はい：11名 いいえ：2名 未回答：2名]

#### ③ソルフェージュレッスンを受けたことがあるか。

[はい：12名 いいえ：18名]

はいと答えた12名にアンケート

- ・どこで受けたか  
音楽教室：3名  
個人教室：9名  
高校の音楽授業：1名
- ・内容はどのようなものだったか。  
リズム：8名  
書き取り聴音：7名  
メロディ視唱：5名  
コールユーブンゲン：1名  
新曲歌唱：1名
- ・楽譜が書けるか。[はい：7名 いいえ：5名]

#### ④楽典（音楽理論）の勉強をしたことがあるか。

[はい：8名 いいえ：22名]

はいと答えた8名にアンケート（複数回答有り）

・楽典の中で主に使用していた表記はどれか。

ローマ数字	I	II	III	IV	V	VI	VII	I	0名
伊 語	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	7名
英 語	C	D	E	F	G	A	B	C	3名
独 語	C	D	E	F	G	A	H	C	3名
日 本 語	は	に	ほ	へ	と	い	ろ	は	4名

・楽典でわからなかったものは、どれか。

音階	音程	リズム	音符	和音	楽語 Andante...	記号 D. C Fine...
		1名		5名	2名	1名

・楽典で覚えているものは、どれか。

音階	音程	リズム	音符	和音	楽語 Andante...	記号 D. C Fine...
3名	3名	3名	6名		1名	1名

・楽典の中で、下記のものを知っているか。

ソナタ形式：1名  
 二部形式：0  
 ロンド形式：0  
 動機・大楽節：0








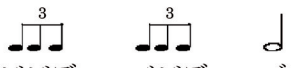
も く じ

第 1 章	第 3 章
リズム ..... 1	記号 ..... 27
音符と休符 ..... 2	強弱記号 ..... 28
拍子 ..... 4	強弱記号ワーク ..... 29
音価 ..... 6	リトミックワーク ..... 32
リズムワーク ..... 9	リトミックワーク (強弱) ..... 33
リトミックリズム ..... 11	速度(テンポ)記号 ..... 34
リトミックワーク ..... 12	速度(テンポ)記号ワーク ..... 36
リトミックワーク (リズム) ..... 13	リトミックワーク (速度) ..... 38
	強弱、速度の入ったソルフェージュ ..... 40
	反復記号 ..... 42
	反復記号ワーク ..... 44
	奏法に関する記号 ..... 46
楽譜 音名 ..... 15	奏法に関する記号ワーク ..... 49
楽譜 ..... 16	リトミックワーク (奏法) ..... 51
楽譜ワーク ..... 18	
音名 ..... 20	
音名ワーク ..... 22	
リトミックワーク (音色) ..... 24	
	<b>第 4 章</b>
	リズムに強くなるう ..... 53
	リズムトレーニング1 ..... 54
	リズムトレーニング2 ..... 58

2.2 授業実施プログラムの内容

※1～8回はリトミック表現の実践を伴う

回数	音楽要素	内 容	教材
1	拍  ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの音に合わせて歩き、音が止まったら近くの人と手を合わせて「ハロー」と挨拶する これを常に拍を感じながら繰り返し行う</li> <li>・音楽に合わせてボールつきをする（テニスボール使用）</li> <li>・全員で輪になり、ボールを隣の人に渡す 「反対」の声掛けで渡す方向を変える 拍を感じて即時に反応する</li> <li>・音階を階名で歌う 高いドを歌う時には、花火を打ち上げる表現をする</li> </ul>	P4  P21～23
2	拍子  ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ即興演奏を聴き、2/4 拍子・3/4 拍子・4/4 拍子と拍子が変わる度にパートナーを変えて両手を打ち鳴らす 6/8 拍子は両手を繋いだまま揺らす</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・音階の上行形、下行形をハンドサインしながらうたう</li> </ul>	P4, 5  P21～23
3	音価  ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な動物の動きを身体表現する</li> </ul>  <p>例) ゾウが歩く    クマが歩く    ウサギが跳ねる    リスが走る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長調と短調の音階をド レ ミ ファ ソ と ド レ ♭ミ ファ ソで歌う</li> <li>・演奏を聴いて曲調の変化を聴き分け、即時反応する</li> </ul>	P2、6、7、 28～33 54、55、58  P24～25
4	リズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキップし  のリズムの躍動感を体得する</li> <li>・こどもの歌「手をつなごう」のメロディのリズムを正確にステップする</li> </ul> 	P8～12
5	リズム・ フレーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもの歌「雨ふり」</li> <li>・雨降りの情景をイメージしながら歌い、スキップする</li> </ul>  <p>ビッチ ビッチ チャップ チャップ ラン ラン ラン</p> <p>の最後の音で、水たまりに見立てたリングの中に入る</p>	P2, 3 8～11 56、57
6	リズム・ パターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人組になり、野菜の名前をリズムに置き換えて、交互に手を叩いて表現する 聴こえてくる音楽の拍子に合わせてリズムを変化させる</li> </ul>	P13

7	付点音符	<p>・「カバさんの歯みがき」 2人組になり、カバと歯みがき屋になって動きを表現する</p>  <p>カバが口を開く (両手を大きく上下に開く)</p> <p>カバが口を閉じる (両手を合わせる)</p>  <p>① ②</p> <p>開いた口の中に手を入れ、急いで歯を磨く</p> 	P2、3 8~10
8	フレーズ 3連符	<p>・「ビビディ バビディ ブー」の曲をスカーフを使って身体表現する</p>  <p>ビビディ バビディ ブー のフレーズを聴きとりスカーフを投げ飛ばす スカーフは地面に落ちる前にキャッチし、次のフレーズの動きにつなげる。 都度テンポを速くする</p>	P3 P34~41

※9~15回は、リトミック表現の体験を生かし、教材のみを使用

9	音符と 休符	音符と休符の記譜法	P2
10	拍子	拍子の種類	P4 8~11
11	セットリズム 連符	4分音符単位のセットリズム及び連符	P3
12	セットリズム 連符	2分音符単位のセットリズム及び連符	P3
13	楽譜	記譜法、写譜	P16~19
14	音名	幹音と派生音	P20~25
15	楽典	楽典の基礎、やり残したリトミックワークを仕上げる	P1~4

・連符  
音符は全音符を基準として二分音符を二分符、四分音符を四分符、八分音符を八分符として記す。しかし、その音符だけでは表現できないリズムを表す時に連符を使う。  
連符とは、ある長さの音符を等分したもので三等分すれば3連符、五等分すれば5連符という。

3連符  
通常、2つ入る音符のところに3つの音符を入れるので「3」  
と表記する。

5連符、6連符、7連符  
通常、4つ入る音符のところに5つ、6つ、7つの音符を入れるので、それぞれ「5」「6」「7」と表記する。

・セットリズム  
次にあげたものはセットでよく使われるリズムである。セットで覚えよう。



\* 「音楽基礎演習」授業において 授業開始20分間、全員を集めリトミック音楽表現の実践を伴った音楽理論の授業プログラムを展開する。この時授業に関係している4名の音楽講師も参加する。その後70分間各クラスに戻り「第一巻 リトミック」基礎演習を学習する。

教本の内容は、各教育機関などで幼稚園教諭免許や保育士資格などを取得する学生のための楽典基礎となっている。リトミックワークとして「リズム」「ソルフェージュ」「即興」が取り入れられている。

## 2-3 8回目授業終了後の学生アンケートと感想より

(記述式の為、多かったものを掲げる)

### ① 感想

- ・音を聴きながら体を動かすことが楽しかった：28名
- ・音楽に合わせて歌ったり、スキップしたり、ボールをついたり、遊びに合わせて、身体表現することでリズムが身についた
- ・体を使って音を感じることで、楽しく音程がとれるのが楽しかった
- ・体も頭も使いながら行うので、思ったより難しかった
- ・ピアノ Lesson と連動していて「あっ、さっき先生が言っていたのと同じだ」と思うことが多々あり、わかりやすかった
- ・音楽を身体で表現するって、こういうことなんだと思った
- ・音楽を身体で感じることで、楽しさを実感することができ、子ども達は音楽を聞くことで、こういう気持ちになるのだなと思った

### ② 授業を受けてから 自分の中で変わったこと

- ・皆が楽しそうにやっているのを見て、自分も恥ずかしさがなくなり、動けるようになった
- ・音楽が聴こえると、すぐに踊るようになった
- ・音楽を楽しめるようになった。好きになった
- ・音をよく聞くようになった
- ・音符、リズム、曲調などを深く理解することができた
- ・リズム感が身についた
- ・しっかり楽譜を読むようになった
- ・少しずつピアノが上達してきた
- ・前向きに努力するようになった
- ・複雑なリズムでも、体を動かすと分かるようになった
- ・授業で使われる即興演奏が弾けるようになりたいと思った
- ・ただピアノを弾くのではなく、歌やダンスをする人に合わせられるようになりたいと思った

### ③ 授業を受けてわかったこと

- ・リズムは目で見たり、読んで覚えるよりも、身体を動かし歌う方が身につく
- ・音楽は耳で聞くより、身体で感じる方が楽しめる
- ・楽典内容を深く理解することができた
- ・音楽ってすごいと思った
- ・音楽にはたくさんの規則があることを知った
- ・音を聴くことが大切
- ・自分も楽しまないと、小さい子どもも楽しめないこと

### ④ 授業において、演奏技術や音楽的に向上したと考えられる点は何か

- ・リズム感がつき、リズムを意識するようになった
- ・リズムのとり方がわかるようになり、演奏しやすくなった
- ・両手を動かして弾きやすくなった
- ・楽譜が読めるようになった
- ・曲想を考えるようになった
- ・演奏することが楽しくなった
- ・身体が自由に動くようになった

### ⑤ 第一巻「リトミック」と結びついたことはあるか

**リズムワーク**：身体で動いたリズムが音符と結びつき分かりやすかった

**音価**：音符の長さを確認しながらピアノを弾くようになった

**楽譜**：手をたたきながらリズム唱することで、音価を理解することができた

**強弱**：リトミックによる自由な表現活動をする中で、強・弱のエネルギー体感した

**速度**：リトミックによる自由な表現活動する中で、動物が走る様子を表現した時、いろいろな動物の走る速度（時間と空間とエネルギー）を感じた

### ⑥ 第一巻「リトミック」の中で、興味を持ったページはどこか。

**P 2 0**：ダブルフラット、ダブルシャープなど知らない記号といろんな原語で表記される音名

**P 2**：音符と休符の種類

**P 5**：拍子の種類

**P 9～13**：リズム打ち、リズム唱、リズムワーク（身の回りのものを表現、リズムと言葉が結びつくのがおもしろい）

**P 28**：強弱記号がたくさんあって、興味を持った

**P 32**：絵を描いて強弱を考えるのはとても楽しかった  
リトミックワーク 自分の中にイメージを作っておくことが楽しい

**P 34**：速度（テンポ）や速度記号を見て、譜読みの段階から曲調をつかめるようになった。テンポは知らなかった

### ⑦ 第一巻「リトミック」の内容は知っていたか。

ほとんど知っていた：1名

少しは知っていた：21名

ほとんど知らなかった：15名



⑧第一巻「リトミック」を学んで演奏にプラスになったことは何か。

- ・楽譜に出てくる音符とリズムワークのページが結びつくようになり、楽譜を読むのに苦労しなくなった
- ・リズム感がついた
- ・あやふやだった 音符の長さや拍数がわかるようになった
- ・教本の知識は演奏をより良いものにすることがわかった。表でまとめてあるのでわかりやすい
- ・強弱表現ができるようになった
- ・へ音記号も読めるようになった
- ・演奏テンポを意識するようになった
- ・楽譜を見て、イメージが湧くようになった

2-4 1 5 回目授業後の音楽講師のアンケートより

①リトミック音楽教育を知っていたか。  
[はい：5名 いいえ：0 ]

②リトミックの授業を受けたことがあるか。  
[はい：3名 いいえ：2名]

③リトミック授業を終えたあとの、学生のピアノ演奏・歌唱に変化はあったか。  
[はい：5名 いいえ：0 どちらともいえない：0]

どのような変化が見られたか。

- ・音価を把握し、演奏できるようになった
- ・リズム感が良くなった
- ・指やリズムに敏感になった
- ・楽譜をしっかり見るようになった

④第一巻「リトミック」は、ピアノ演奏・歌唱のスキルアップに効果があったか。  
[はい：5名 いいえ：0 どちらともいえない：0]

⑤第一巻「リトミック」教本の中で、特に役に立ったと思うページはあったか。

P 1 2 : リズム譜から読み取れる動きのイメージワーク

P 1 3 : リズムと言葉を結びつけるワーク

P 2 4 : 音色（長調と短調）を楽譜から読み取り、絵で表現するワーク

P 2 5 : 絵から読み取れるイメージを、音で表現するワーク



⑥テンポ・拍感は今まで指導してきた学生より体得されていたか。  
[はい：5名 いいえ：0 どちらともいえない：0]

⑦リトミック授業は「音楽的センスと演奏技術の向上」に効果があったと思うか。  
[はい：5名 いいえ：0 どちらともいえない：]

### 3. アンケート調査結果の検証

授業前のアンケートからは、全くピアノを弾けない学生が約3分の1いることが明らかになり、幼少期からのピアノレッスンの積み重ねにより演奏技術を身につけている学生が半数であることが分かった。その中でもソルフェージュや楽典のレッスンを受けていた学生は、その半数以下であった。ピアノ演奏技術の習得だけにとらわれ、併せて学ぶ必要のあるソルフェージュや楽典の認識が充分でないということが見えた。

授業後のアンケートからは、学生が「音楽は楽しい」「音楽はすごい」と感じ、自らの表現活動を楽しんでいたことが分かった。それらは、保育者が最も苦手とする「即興演奏」への取り組みを積極的にさせた。その結果、演奏技術向上の為の努力も惜しまなくなり表現力豊かな演奏ができるようになった。

音楽講師のアンケートからは、リトミック音楽表現が教本の内容と深く結びつき学習成果は顕著であったことが実証された。

### 4. おわりに

リトミック音楽表現の実践を伴った授業は、学生達にとって新鮮なものであり、毎回全員が笑顔で授業を終えた。

他者とのコミュニケーションが深まり、積極的に自己表現することが出来た。学習意欲の向上もみられ、「音楽的センスと演奏技術の向上」にも繋がったことが実証された。

最も苦手と言われる「即興演奏」への導入が教本を通して興味を持ちながらなされたことは最終目標に大きく繋がるものであった。

本研究では、教本：第一巻「リトミック」を中心に検討し、リトミック音楽表現の有効性についてみてきたが、今後は、教本：第二巻～四巻を作成し、4年間の授業展開を通して、保育現場のあらゆる場面において、リトミック音楽教育のアプローチが出来る保育者養成に繋げていきたい。

### 5. 謝 辞

本研究を進めるに当たり、ご協力いただきましたKYONARO MUSIC STUDIOの高橋民恵先生、藝樹音楽の森の平松浩一郎先生に厚く感謝を申し上げます。

### 文 献

- ① エリザベス・バンドウレスパー「ダルクローズのリトミック」ドレミ楽譜出版 1996年
- ② 「リトミック実践の現在」日本ダルクローズ音楽教育学会 開成出版 2008年 61～97頁
- ③ 板野和彦「ユニバーサルデザイン音楽表現」モリモト印刷 2018年 10～40頁
- ④ 「ダルクローズ音楽教育研究」日本ダルクローズ音楽教育学会 望洋出版 2018年 60～81頁
- ⑤ 平松なをみ、高橋民恵、平松浩一郎共著「第一巻『リトミック』基礎演習 ケイプラス出版 2018.2月